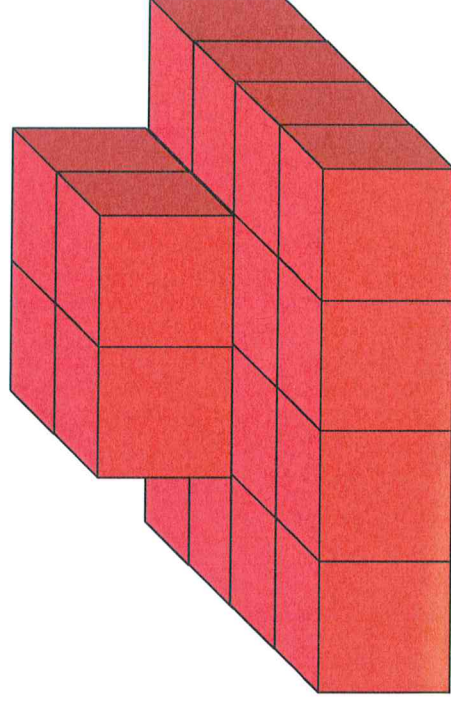
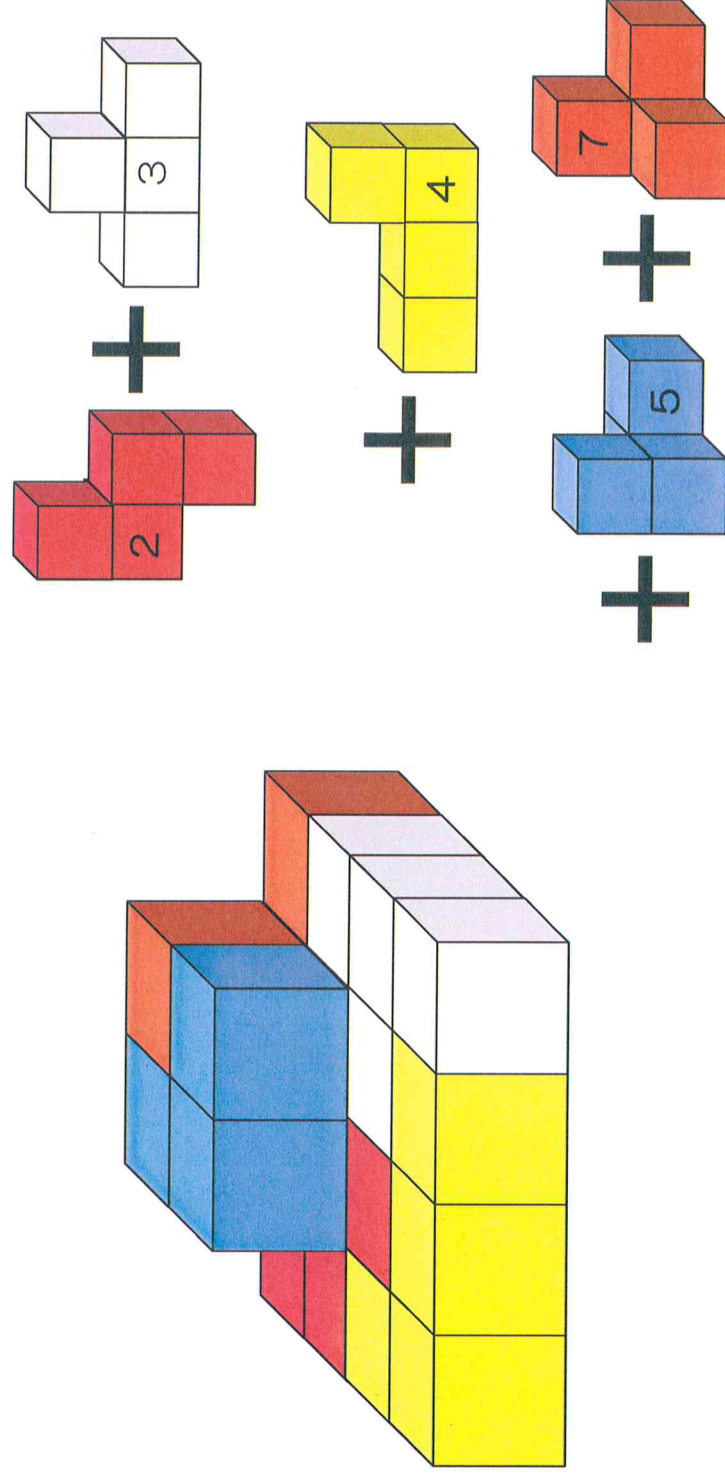


ものまね積み木見取り図

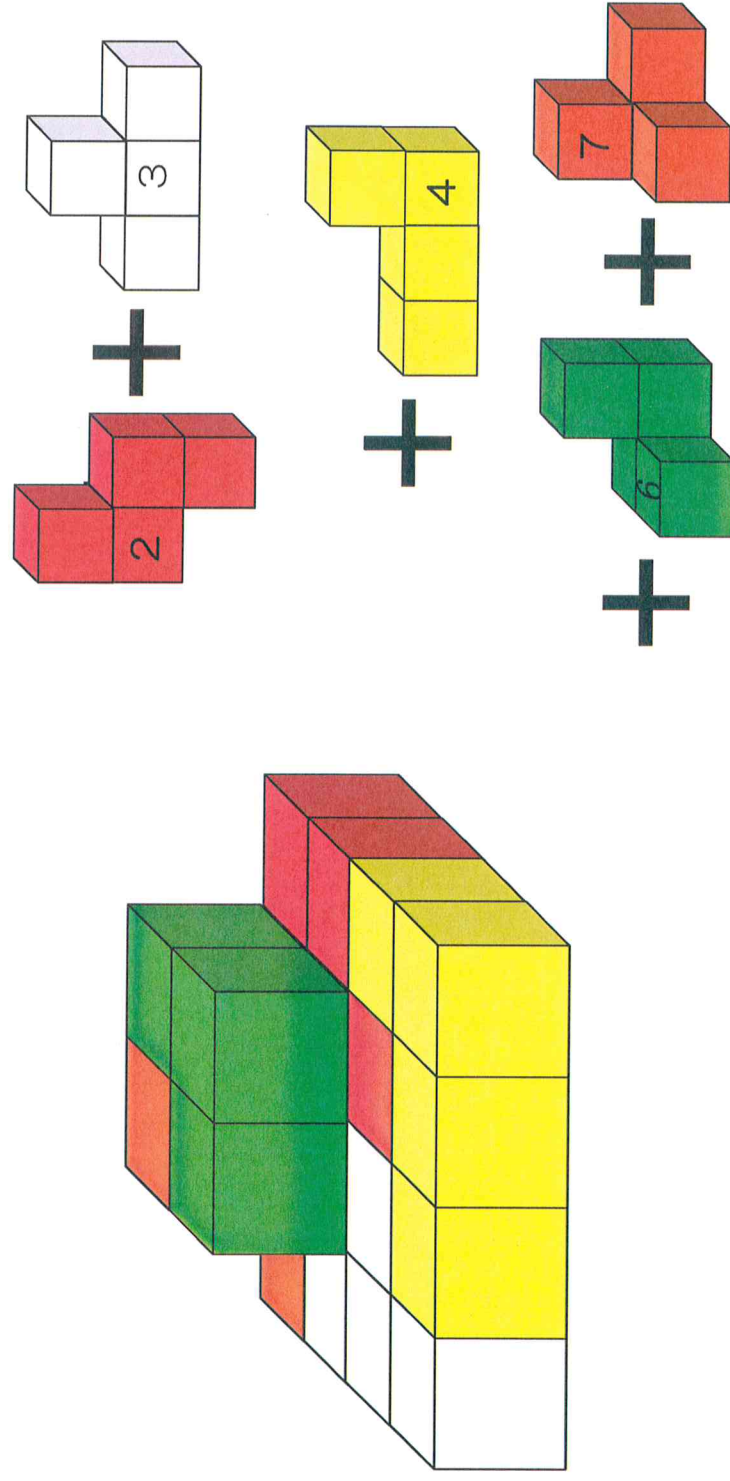


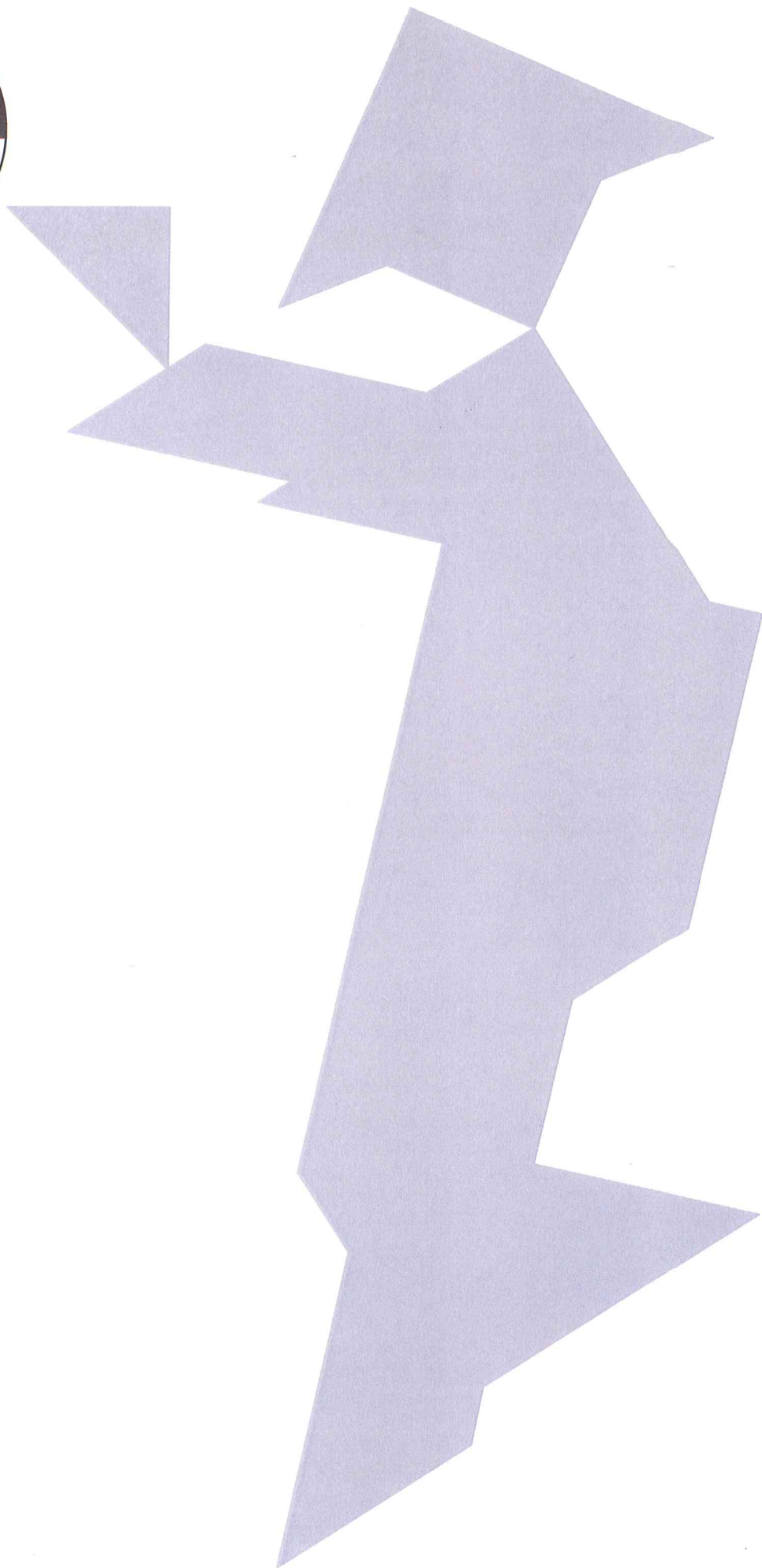
(28M-3)

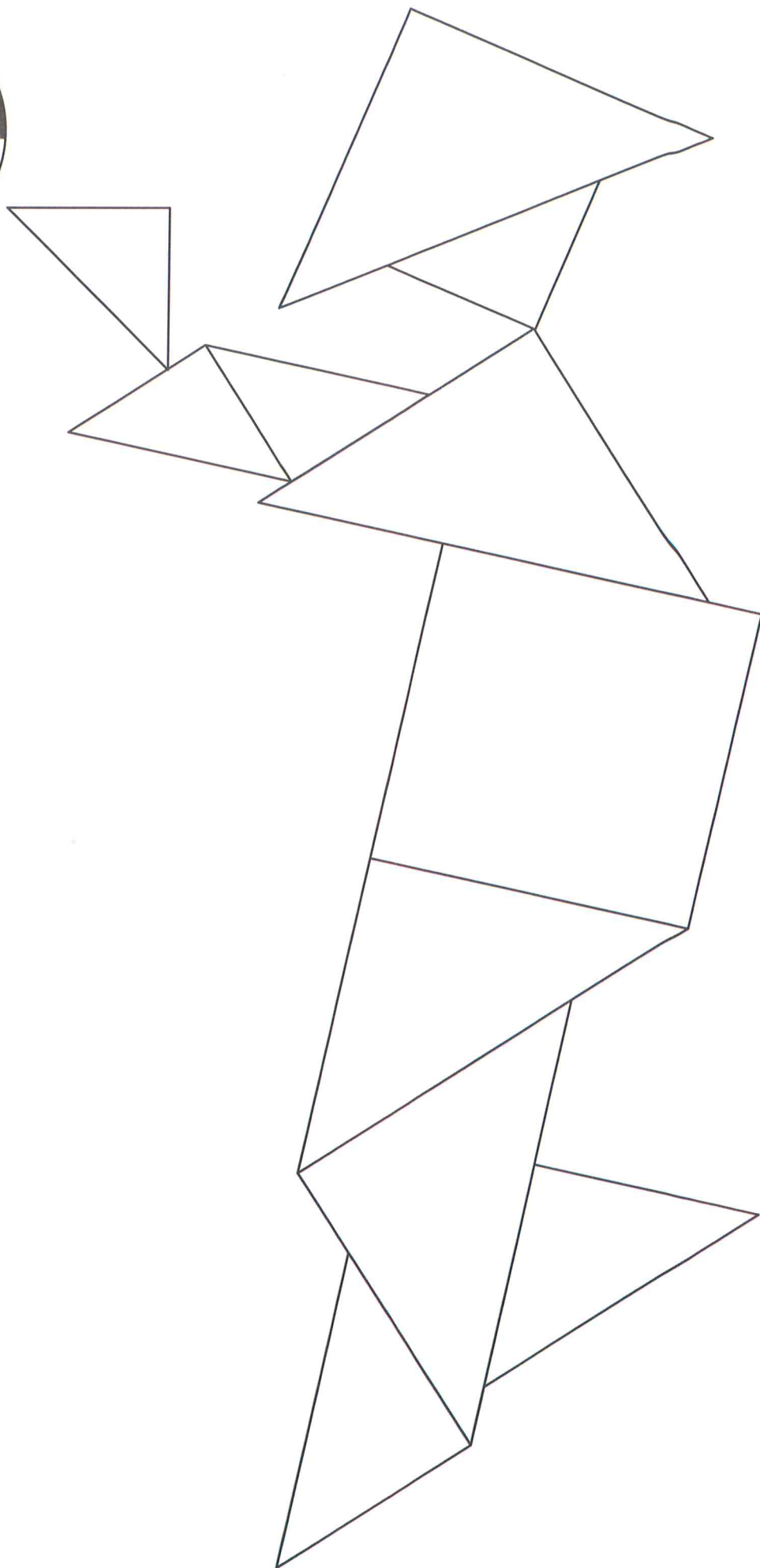
【解答例】 ものまね積み木見取り図(28M-3)



【解答例】 ものまね積み木見取り図(28M-3)



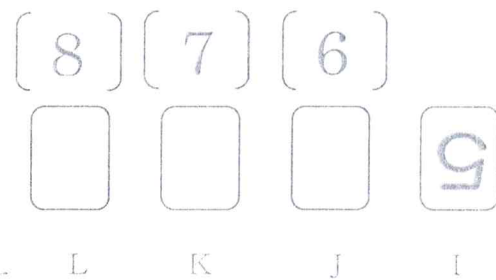




【解答】詰めアルゴ その39

- 下のアルゴゲームは、4人プレーのペア戦です。

自分のところに、A、B、C、Dのカードがくばられて、味方から、Iのカードを見せてもらいました。残りのカードをあてましょう。(カードは白と黒の1～8を使っています。)



(3) M

H (8)

(3) N

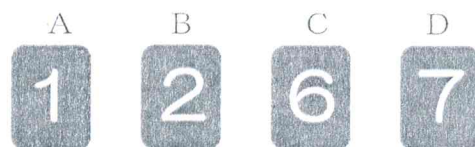
G (5)

(4) O

F (2)

(4) P

E (1)



【詰め方の例】

黒の残り：3，4，5，8 白の残り：1，2，3，4，6，7，8

・ J、K、LはそれぞれIの右なので5以上であり、白の残りから

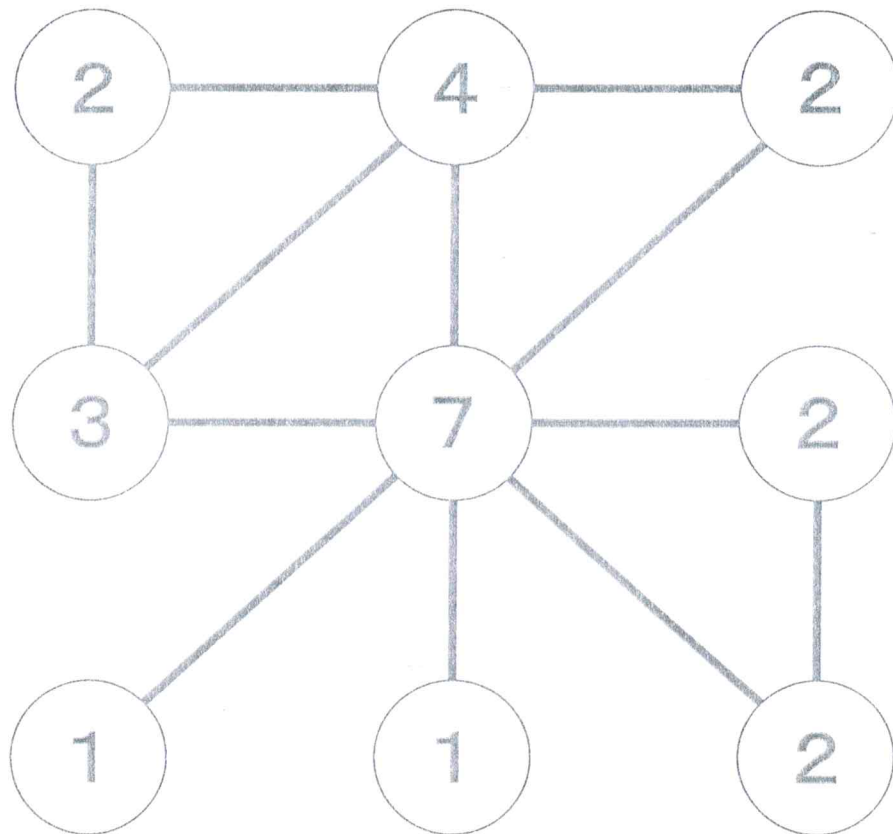
Jは6、Kは7、Lは8で決まる。

・ 白1は最高でも右から2番目、黒8は最高でも左から2番目にあるが、

黒 1 の右には黒 2 が、白 8 の左には白 7 が既にあるので
E は 1、H は 8 で決まる。

- 白の残りから P は 4 以下、N は 3 以下であり、黒の残りから
N の左の M は 3 で決まり、N も 3、P も 4 で決まる。
- O は N の右、P の左なので 4 以上 4 以下、つまり O は 4 で決まる。
- カードの残りから F は 2、G は 5 で決まる。

【解答】 ナンバーリンク その39



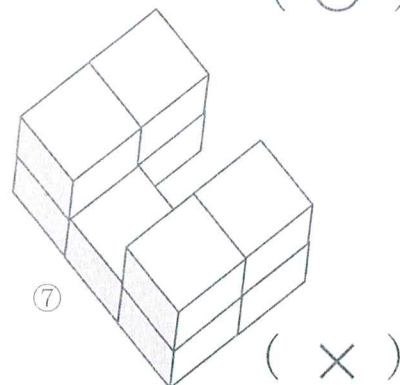
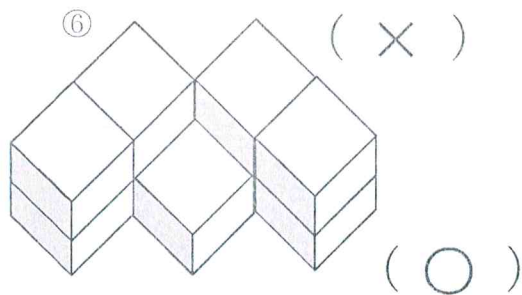
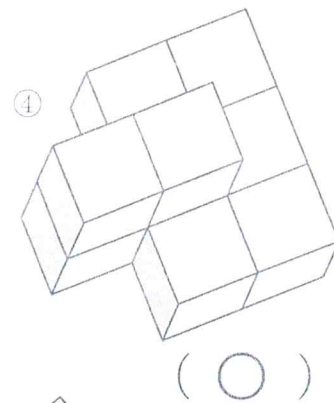
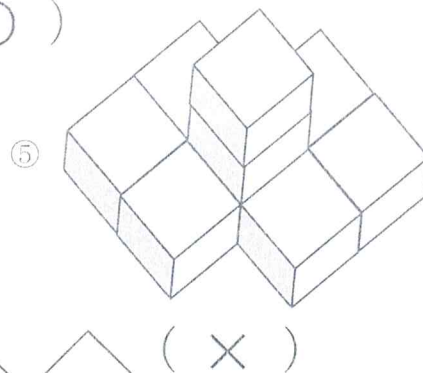
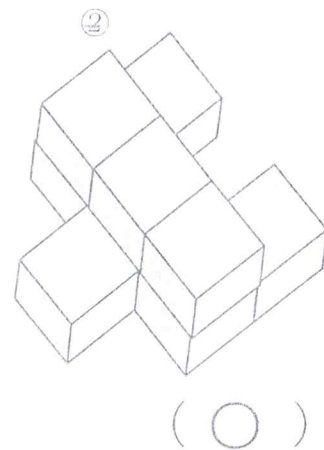
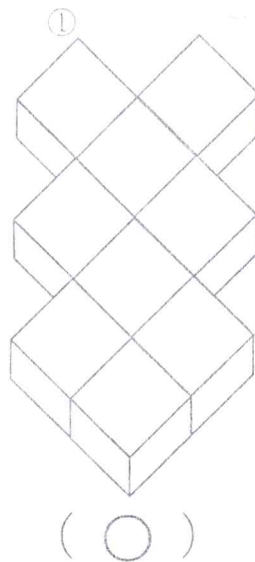
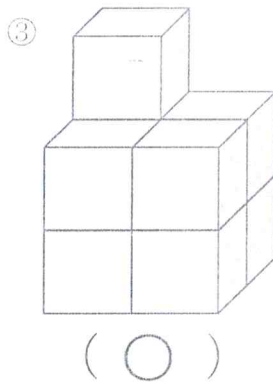
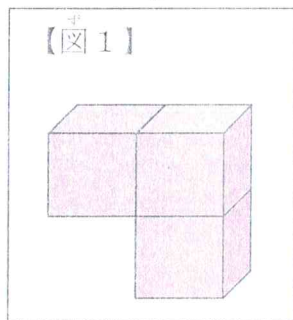
【考え方の例】

- ・中段真ん中の7に注目する。この7から、上段左の2と上段右の2の両方へ線を引くと、上段真ん中の4が線を4本引けなくなる。よって、この2か所のどちらかへは線を引かないことになり、それ以外の6か所へは必ず線をひくことがわかる。
- ・あとはルール通りに線を引いていけば完成。

【解答】 チャレペー その39

くあ 「組み合わせよう ①」

ずおな かたち
図1と同じ形のピースが3個あります。このピースを組み合わせてでき
る形には○、できない形には×をつけましょう。



【考え方の例】同じ形の P-Cube をいくつか集めて実際に試してみるのもよいでしょう。

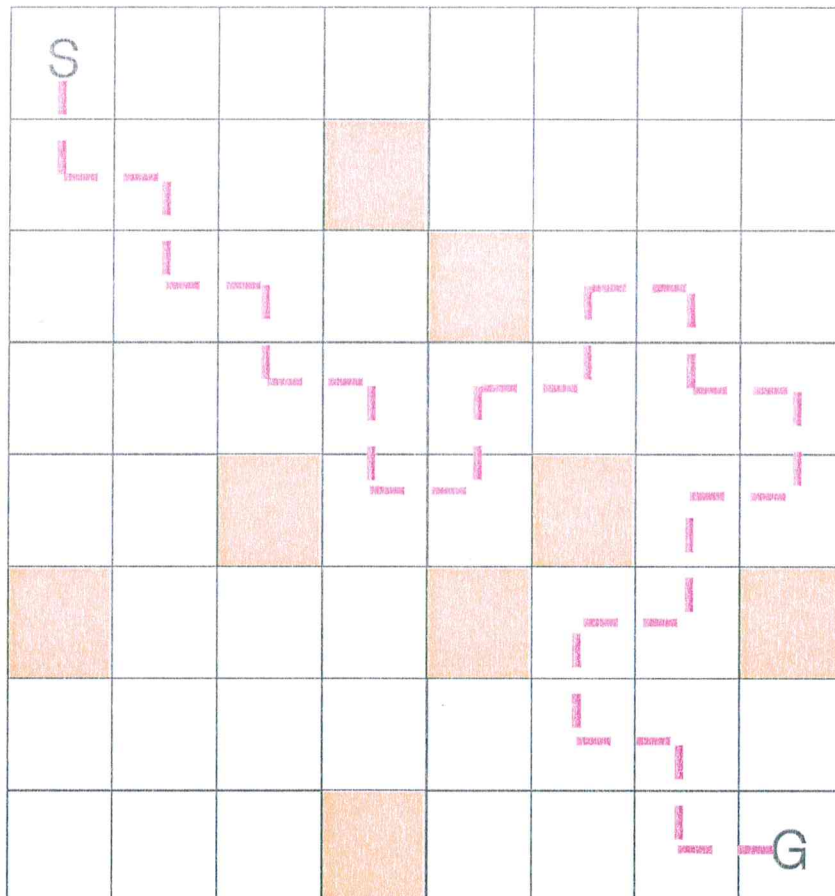
【解答】 迷路 「直進禁止 ③」

がつ 月 にち 日 なまえ 名前

つぎ 次 の 4 つ の きまり を 守 っ て、S の マス から G の マス ま で 1 マス ず つ 移 動 し ま し ょ う。

1. 1 マス 進 ん だ ら 必 ず ど ち ら か に 曲 がる。
2. 同 じ マス を 2 度 通 れ な い。
3. 色 の つ い た マス は 通 れ な い。
4. 斜 め 移 動 は で き な い。

S から G ま で の 正 し い 順 路 に、線 を 書 き い れ な さ い。

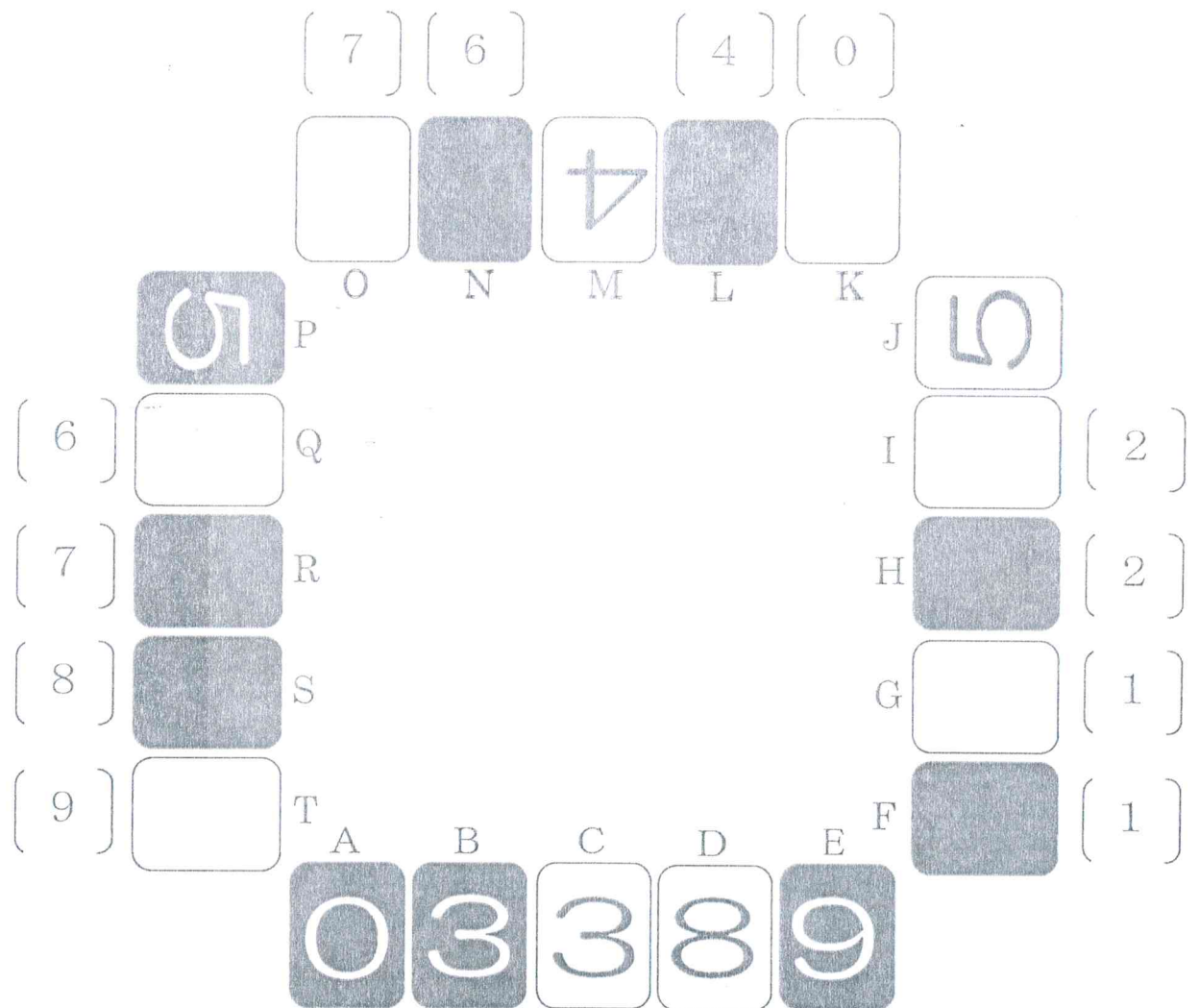


【解答】 詰めアルゴ その111

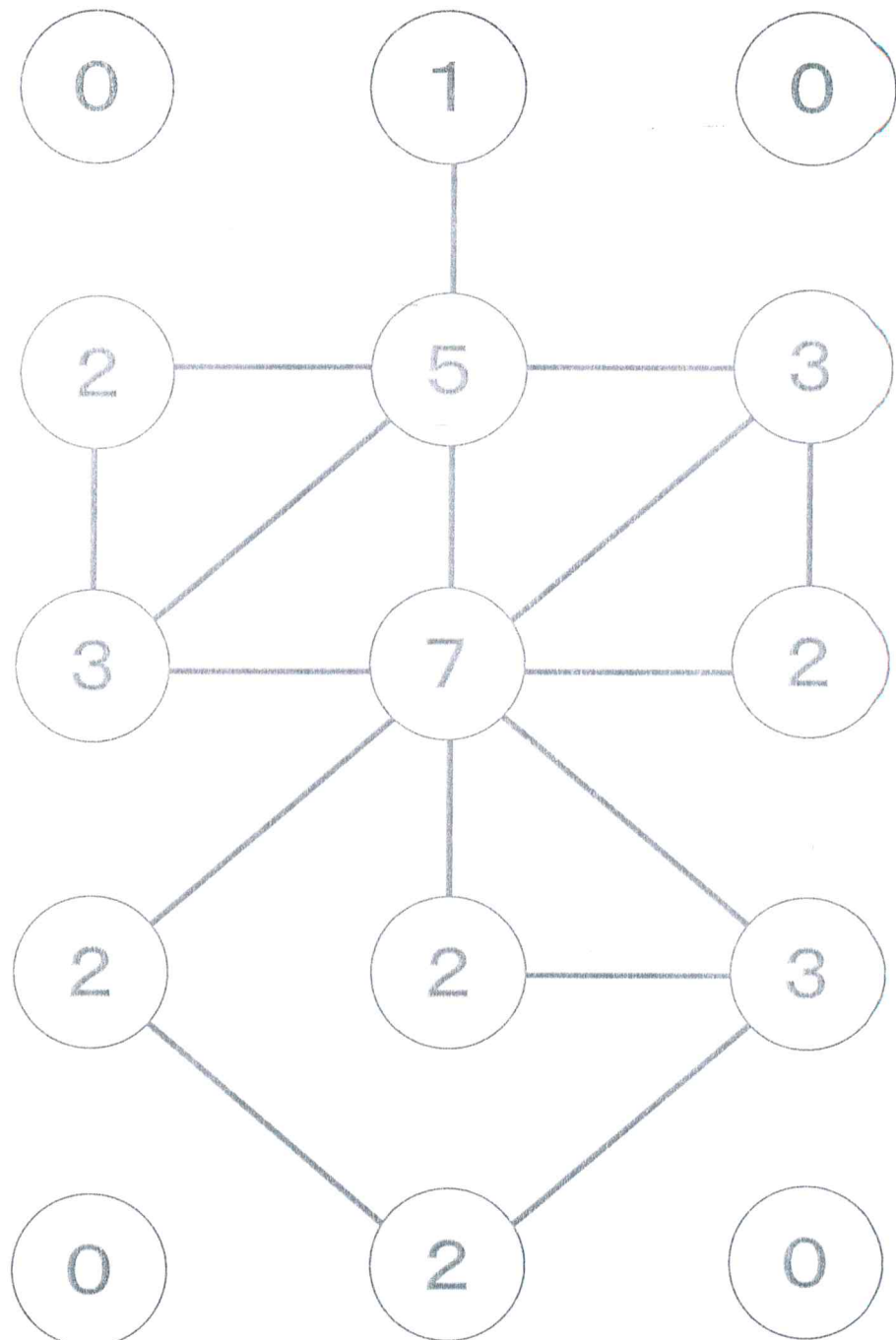
くろ しろ まい つか む あ
0から9までの黒と白20枚をすべて使って、4人が向き合ってア

ルゴをしています。

すうじ　かんが
ふせてあるカードの数字を考　えましょう。



【解答】 ナンバーリンク XY-043



【考え方の例】

2 段目右③から上段①につないだとしても、2 段目⑤が決まるが中央⑦が成立しなくなってしまう。ゆえに、この③と①はつながない。2 段目右③が決まる 2 段目⑤が決まる。中央⑦が決まる。4 段目右③が決まる。残りはルール通りにつないで完成。

【解答】 チャレペー その 111

「便利な計算方法」

1 から 30 までの 30 個の整数のうちで、2 でも 3 でも割り切れない数をたし合わせると、いくつになるでしょうか。

下の図の続きを書いて、便利な計算方法をみましょう。

式と答えを書きなさい。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

しき 式	(例) $30+30+30+30+30=150$ $30 \times 5=150$
こた 答え	150

【考え方の例】

次のように 30 までの数字を書き込んでいきます。

1 列に 6 ずつ書いていくと、丸で囲んだ部分が 2 か 3 (または 2 と 3) で割り切れる数になります。つまり、まるで囲まれていない部分が 2 でも 3 でも割り切れない数字になります。

そのままもし合わせてもよいですが、1 と 29、7 と 23、、、のように、たして 30 になる組み合わせが 5 組できることから、

$$(1+29)+(7+23)+(13+17)+(19+11)+(25+5)$$

つまり、

$$30 + 30 + 30 + 30 + 30 = 150 \quad (\text{または } 30 \times 5 = 150)$$

答えは 150 だとわかりました。

